

# 3つのゾーンが建設候補地に

本庁舎等建設審議会は4月9日に第8回会議を、4月27日に第9回会議を、それぞれ堀金総合支所にて開催しました。審議の概要は次のとおりです。

第8回会議では、前回の会議で委員が挙げた8カ所の建設候補地を視察しました。そのうえで、「評価の視点」(表1)に基づき、各委員がそれぞれの候補地を評価しました。そして、各委員の評価結果を集計し、審議会では、3つのゾーン(図1)を「ふさわしい建設候補地」として選定しました。

また、第9回会議では、3カ所に絞り込んだ候補地の評価点と課題を整理(表2)しました。そして、これまでの審議内容を答申書(案)としてとりまとめ、すべての審議を終了しました。答申書の具体的な内容は、市長への答申後に掲載します。

建設候補地の位置図(図1)



第8回には8カ所の建設候補地を視察し、各委員がそれぞれの候補地を評価した(写真左)。第9回では、これまでの審議をまとめ、すべての審議を終了した(写真右)。



建設候補地の選定における評価の視点(表1)

8カ所から3カ所に絞り込むために、次のような視点に基づき評価しました。

項目	評価の視点
地域性	地域の核として賑わいを創出すること。
合併協定書との整合性	住民の利便性、交通事情その他官公署との関係を考慮していること。
市総合計画との整合性	将来都市像「北アルプスに生まれこころ輝く田園都市 安曇野」にふさわしいこと。
土地利用計画及び景観計画との整合性	土地利用計画のA区域(地域拠点区域)内にあること、またはA区域に連たんが見込めること。また景観計画の中で制限されている行為でないこと。
地域生態系保全及び周辺環境配慮	地域生態系を保全できること。周辺の都市環境、自然環境との調和ができること。
耐震及び対浸水	活断層や浸水想定地域など、自然災害の影響が低いと考えられること。
移動	地理的状況からみて、まちの中心に近いこと。
	車・バイク利用で交通の便が良いこと。
	公共交通の便が良いこと。
経済性	官公署、病院、郵便局、銀行、商店街等に近いこと。
	人口分布状況から、まちの中心に近いこと。
効率性	駐車場・駐輪場が十分に確保できること。
	用地買収費、移転補償費、道路整備費が抑えられること。
更新性	将来の増築や改築が可能であること。

建設候補地の評価と課題(表2)

3カ所の候補地の評価点と課題を整理しました。

候補地	評価点	課題
豊科保健センター周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>東の国道19号から西の山麓線まで東西に延びる道路の沿線である。また国道147号が南北にあり、アクセスが良い。</li> <li>豊科I.Cに最も近い候補地である。</li> <li>土地利用計画のA区域に連たんする地域である。</li> <li>他の官公署、病院、郵便局、銀行、商店街に近い。</li> <li>豊科総合支所の近くであり、その機能を本庁舎へ吸収することが期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>候補地の中では最も敷地が狭く、附随施設(防災センター、駐車場等)のあり方を工夫する必要がある。</li> <li>都市計画中心、人口重心及び5つの総合支所の中心より少し南に位置する候補地である。</li> <li>新たな開発を伴うため、周辺の都市環境、自然環境との調和について配慮が必要である。</li> <li>盛土や水路の付け替え等の土地整備費が必要となる。</li> <li>現段階では、都市計画法の市街化調整区域であるため、建設にあたっては県との協議が必要である。</li> </ul>
豊科北中学校周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画中心、人口重心及び5つの総合支所の中心に最も近い候補地である。</li> <li>土地利用計画のA区域に連たんする地域である。</li> <li>敷地が広く、駐車場の確保や、将来の増築等の更新性について対応しやすい。</li> <li>豊科総合支所の近くであり、その機能を本庁舎へ吸収することが期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道147号があり南北からアクセスが良いが、東西線が国道147号で止まっているため、西からのアクセスに課題がある。</li> <li>豊科駅や柏矢町駅から遠い地域である。</li> <li>新たな開発を伴うため、周辺の都市環境、自然環境との調和について配慮が必要である。</li> <li>盛土等の土地整備費が必要とある。</li> <li>現段階では、都市計画法の市街化調整区域であるため、建設にあたっては県との協議が必要である。</li> </ul>
安曇野福祉協会周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>東の国道19号から西の山麓線まで東西に延びる道路の沿線である。また国道147号が南北にあり、アクセスが良い。</li> <li>土地利用計画のA区域に連たんする地域である。</li> <li>豊科駅に最も近い候補地である。</li> <li>豊科総合支所の近くであり、その機能を本庁舎へ吸収することが期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上空に高圧線が通っているため、庁舎の配置や階層やヘリポートの設置に課題がある。</li> <li>都市計画中心、人口重心及び5つの総合支所の中心より少し南に位置する候補地である。</li> <li>新たな開発を伴うため、周辺の都市環境、自然環境との調和について配慮が必要である。</li> <li>盛土等の土地整備費が必要である。</li> <li>豊科駅の裏側にあるため、西口の整備を検討する必要がある。(整備費が必要)</li> <li>現段階では、都市計画法の市街化調整区域であるため、建設にあたっては県との協議が必要である。</li> </ul>

※審議会の会議録(要旨)は、安曇野市ホームページおよび本庁舎内総務課庶務係でご覧いただけます。  
 URL <http://www.city.azumino.nagano.jp/>  
 ☎本庁舎内総務課庶務係 (TEL71・2000 FAX71・5000)